

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 8 回 定例委員会
日 時	平成 23 年 4 月 25 日 自 15 時 30 分 至 16 時 7 分
場所	苫小牧市役所第 2 庁舎 2 階会議室
出席委員	委員長 上原 肇 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 山田 真久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 守 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田中亮太
事務局職員	学校教育部長 斎藤 章吾 スポーツ生涯学習部長 松浦 翁務 学校教育部次長 田中 章嗣 総務企画課長 戸村 真規 総務企画課総務係長 三橋 大輔 総務企画課総務係主事 田中 亮太 総務企画課総務係主事 近江谷 健
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（上原委員長）…15時30分

2 会議録署名委員の指名（佐藤守委員）

3 教育長の報告

・新年度になって3週間が過ぎた。この間を振り返ると、5日に勇払小「あすなろ学級」特別支援学級の開級式、6～7日にかけて小中学校の入学式。8日には第1回目の定例校長会議が開かれ、教育委員さんにも御出席いただいた。また、12日は、市内全ての先生方で構成する苦小牧市教育研究会の総会が開催された。更に19日には、延期された全国学力・学習状況調査に代わり、本市独自の学力試験が5年生・中2年生を対象に実施された。20日には苦小牧市長生大学の入学式、本日午前中に道教委主催の高等学校適正配置胆振東学区検討協議会が開催された。なお、明日は、弥生中学校が東北から道東方面に切り替えて修学旅行に出発する。いよいよ修学旅行シーズンに入ってきた。

・4月1日付け市役所の管理職人事異動で齊藤学校教育部長、松浦スポーツ生涯学習部長、田中学校教育部次長、遠藤学校教育課長、佐々木弘科学センター館長、石井中央図書館長、宮武スポーツ課長、仲見指導主事が就任した。また、一般職人事でも、担当課の総務企画課において異動があり、役割分担が変わったのでよろしくお願いしたい。なお、機関協議で度々お集まりいただいたことにお礼を申し上げる。

・また、教職員人事だが、新たに市外から転入された校長先生は7名、教頭職では市外から14名、指導主事から1名の15名が着任した。更に一般教員では市外から39名の教職員、新採用教員も11名着任し、各学校に新鮮な風が吹き込まれて新学期がスタートした。

・次に、東日本大震災に関わっての報告をする。

・被災地からの児童生徒の受け入れについては、現在7名を幼稚園・小学校で受け入れ

ているほか、期限付きで教員も1人入っている。教科書や学習用具を失うなど、不自由な面については、学校が聞き取りし、市教委として弾力的に対応したいと考えている。

・本市の津波被害は、東方地方に比べ比較的軽く済んだが、避難所に指定された東中、勇払小のほかに市民47名が9校に自主避難された。これまで神淡路大震災の教訓を元に地震マニュアルを策定していたが、津波については不十分であることが分かった。したがって、今後、市教委も市の防災担当と連携し、手直しの必要があると思うので検討する。御理解いただきたい。

・また、新聞報道されていたが、各学校でも被災者を支援する取組が始まっている。地震と津波が起きた時は卒業式が間近だったので、新学期になってからでいいから児童生徒ができる内容で、心遣いや思いやりが見える取組を呼びかけていたところである。

・先程の修学旅行の件だが、山なみ分校を含め、現在16校が中学校で修学旅行を行っている。これまで東北だったが、今回10校が道東方面へ行き先を変えての実施ということになる。残り6校が、今のところ、青森県の近くでスキ一体験などがある。この辺りは比較的安定しているということで計画している。6校の内の2校は時期を繰り下げる、7~8月に予定されている。全て保護者へ説明会を開き、保護者にも理解を得ている。

・最後に、高校配置計画胆振東学区での協議についてだが、道教委は生徒数の減少から3年後の見通しをローリング提案している。23年度の入試が終わったことから、次に24年度から26年度の方向性までを7月に提案する考えである。この間の減少数は、来年で65名減、次が25名減、その次は46名減と合計126名が減少する。この内、苫小牧は91名減である。こうしたことから、26年度には0~1学級の学級減を想定している。協議では、毎回のとおり、郡部の町教委からは存続を、市内の私立高校からは市内の公立高校の削減の要望が出た。私としては、いつも苫小牧に矛先が向けられるので、違和感を持って出席しているが、今回、市内の

PTA保護者から、親の気持ちとしては学力レベルの高い高校は減らしてほしくないという意見が出ていた。この後7月に向けて、どのような方向を示すか注視して行きたいと考える。以上。

(上原委員長) 教育長報告に関連して、御質問があればお受けしたい。

(佐藤守委員) 大地震の関係で子ども達のメンタル面に影響が出ているのではない。苫小牧としては、メンタル面に対して今までと違う取組は考えられているのか。

(教育長) まず苫小牧に被災してきた方々には、学校の方から申し出があれば対応する。苫小牧市内で、保護者の相談があれば考えなければならないが、今のところ保護者からの問合せはない。指導室にスクールソーシャルワーカーがあり、カウンセリングの資格も持っているので、いつでも対応できるかと思う。

(上原委員長) 他に意見や質問はあるか。

(一同「なし」の声)

(上原委員長) ないようなので、報告を終えたいと思う。

(一同「異議なし」の声)

4 議 案

議案第1号 苫小牧市立学校管理規則の一部改正について

(学校教育部長) 今回の改正について説明させていただく。人事院規則の改正により、これまで期限が決まっていなかった国家公務員の病気休暇について、90日間の上限が設けられ、平成23年1月以降から適用される。この改正に伴い、2月15日に北海道学校職員の勤務時間、休暇等に関する規則、北海道道立学校職員の給与の支給に関する規則、並びに北海道立学校職員服務規程などの改正が行われたため、病気休暇の承認を定めた苫小牧市立学校管理規則を改正するものである。

今まで8・9日までの病気休暇の承認は校長先生が行っており、9・10日以降の承認については教育長が行っていたが、その日にちについて9・10日までの承認を学校長が行うこととする。以上。

(上原委員長) 御質問があればお受けしたい。

(一同「なし」の声)

(上原委員長) それでは原案どおり決定することによろしいか。

(一同「異議なし」の声)

－原案どおり承認－

議案第2号 苦小牧市社会教育委員の委嘱について

議案第3号 教育委員会職員の人事について

(議案第2号及び第3号は、人事案件のため、秘密会とする旨議決する。)

－原案どおり承認－

5 協 議

(佐藤守委員) Eメールのいじめ相談が1月14日から始まったが、状況はどのようになっているのか。

(教 育 長) 先日「私の知っている人でいじめに遭っている人がいる。」という内容のEメールがあったが、どこの学校か調べようがなく「差支えがなければ学校名等教えてほしい。」と返信した。子どもを通して聞いたという話だったが、最終的にどこの学校かもつかめず、その方が訴えている中身も十分把握できないまま一切連

絡が来なくなつた。その人には「様子を見ている状況です、引き続きお知らせください。」という連絡をした。以上の1件のみである。

(上原委員長) 協議事項は他に何かあるか。

(一同「なし」の声)

6 そ の 他

植苗小学校灯油漏れに伴う補正予算について

(学校教育部長) 植苗小学校灯油漏れについては2月24日に発見した。3月24日の委員会で経過を中間報告をしているが、その後の状況について説明させていただく。

まず予算措置だが、22年度分（3月末までの分）として応急の土砂の排除、オイルフェンス等、調査の経費が260万かかったが、予備費からの充用で賄っている。

更に23年度分として、4月12日付けで660万円の専決処分の補正をしてもらい、5月の臨時会で報告する予定となっている。この660万円の中身としては、エリアの調査結果によりて約48m³の土砂を取り除く経費、それに伴う埋戻しの土砂関係の経費、取り除いた土砂については灯油が含まれているので、それをリサイクル処理しなければならない経費、今後の6か月について毎月1回経過観察をする経費、これらを含め660万円を計上している。その後約6か月間の経過観察した上で、この事項については収束するかと思う。今現状では灯油は染み出でていない。以上。

(上原委員長) 御質問があればお受けしたい。

(佐藤守委員) 他の小中学校でこのようなことがないように点検等はされたのか。

(総務企画課長) 他の小中学校についても点検を行った。

(上原委員長) 他に御質問があればお受けしたい。

(一同「なし」の声)

7 委員会閉会の宣言（上原委員長）…16時7分